

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22086	事業名	和田保育園保育室増設事業		評価分類	B2	
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	02:安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進			款	03:民生費	
		施策の方向	01:就学前教育・保育施設の受入機能の強化			項	02:児童福祉費	
		重点プロジェクト	04:「未来へのピラ」プロジェクト			目	03:保育所費	
事業期間	R 3 年度 ~ R 4 年度	主な根拠法令等		-				
部		健康福祉部						
課		子ども未来課 子ども総務G						

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	子育て世帯の就労状況の変化や低年齢児(0~2歳)を中心に待機児童の発生が続いている。	日中の保育を必要とする未就学児の子どもと保護者	ニーズの高い低年齢児(0~2歳)の受入規模の拡大を図り、待機児童の発生を抑制する。	現在の既存施設がある敷地の余裕スペースを活用し、保育室等の増築を行う。 ・保育室:3室、幼児用トイレ2箇所、エントランス等

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○増築工事 ○工事監理 ○備品購入			
	活動実績 (計画通り実施できたか)	和田保育園保育室の増設工事及び工事監理委託を実施し、当初予定どおり、年度末までに竣工することができた。また、増設工事に伴い新たに必要となる保育等に係る備品の購入を行った。			
計画額	事業費	83,900千円	83,800千円		
		国・県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費	83,900千円	83,800千円		
		国・県支出金			
		地方債			
		その他	30,000千円		
①期間内事業費(R4-7)		83,900千円	②期間外事業費(R8-)	0千円	①+②総事業費
					83,900千円

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	83,800千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	低年齢児の受入規模の拡大数	成果	人	計画値	12			
				実績値	12			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	低年齢児(0~2歳)を中心に恒常的な待機児童の発生が続くなか、就学前教育・保育施設の再編計画に基づき、保育室の増設工事を実施したことにより、令和5年度当初の0~2歳児の受入れ児童数を増加することが可能となり、待機児童の解消を図ることができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
日中の保育を必要とする未就学児の子どもと保護者	ニーズの高い低年齢児(0~2歳)の受入規模の拡大を図り、待機児童の発生を抑制する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	完了	目的の達成又は周期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	A			
事業展開	完了				

1次評価者	健康福祉部 子ども未来課 子ども総務GL 水越 いづみ
最終評価者	健康福祉部 子ども未来課長 佐野 匡史